

聴音・新曲視唱

B 課題(弦楽器・管楽器・打楽器・ハープ・
古楽器・声楽・作曲(MSD)・
ミュージック・コロニー専攻(聴音・新曲視唱を選択した場合))

新 曲 視 唱

S-I と **S-II** の 2 曲が課せられる。
各曲ともピアノで終止形が与えられ、その後 20 秒程度の黙読が許される。
S-II の課題は、ピアノ伴奏付きで行われる。

和 声 聴 音

- H-I** それぞれの和音の根音を与えられ、三和音と七の和音(共に基本形)を聴き取る。演奏は、下声部の音を弾き、続いて和音全体を 2 回ずつ弾く。
- H-II** 三声の和声聴音課題
(a)、(b)とも和声の下声部が与えられる。また調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏 3 回とする。
- H-III** 三声(ソプラノ・アルト・バス)の和声聴音課題
調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏 4 回とする。
- H-IV** 四声密集形の和声聴音課題
H-III と同様に調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示され、演奏は通奏 6 回とする。
- H-V** 四声開離形の和声聴音課題
演奏は H-IV と同様に行われる。

旋 律 聴 音

- 各課題とも、調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示される。
- M-I** 演奏は通奏 1 回、前半を 3 回、通奏を 1 回、後半を 3 回、通奏 1 回の順で実施される。
- M-II** 複旋律の聴音課題
演奏は M-I と同様に行われる。
- M-III** 暗記の課題。通奏 4 回。その間、受験生は筆記をせず、4 回目を弾き終わった後、筆記を開始する。

S-I

Moderato

mp

p *f* *p*

S-II

Andante con moto (Barcarolle)

うた

ピアノ

p *cresc.* *mf*

cresc. *mf*

p

p *cresc.*

p *cresc.*

f *poco rit.* *a tempo* *p*

f *poco rit.* *a tempo* *p*

pp *riten.*

pp *riten.*

H-I

三和音→

七の和音→

H-II

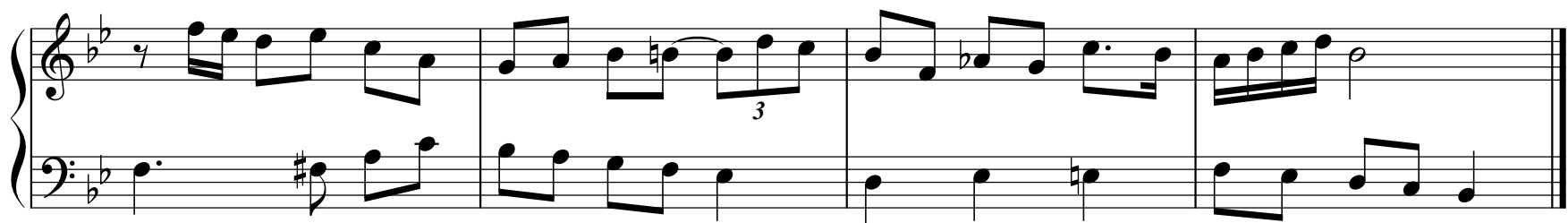
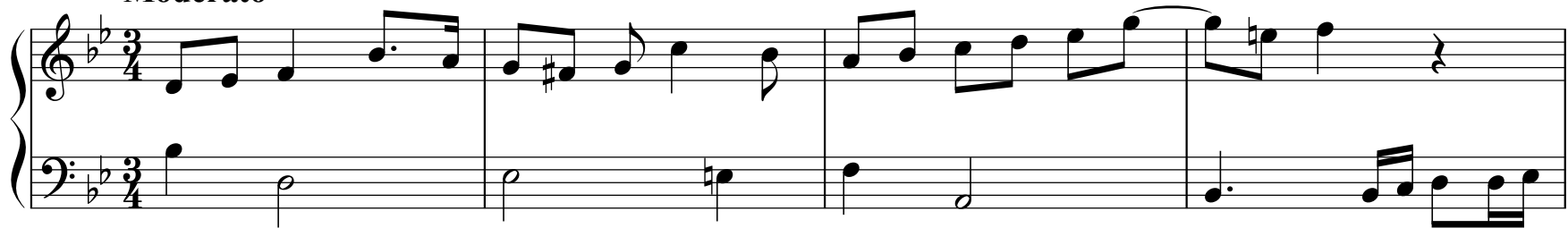
(a) h moll 2分の2拍子

(b) F dur 2分の2拍子

H-III 三声 (ソプラノ アルト バス)
a moll 2分の2拍子

H-IV 四声体 (密集)
d moll 2分の2拍子

H-V 四声体 (開離)
G dur 2分の2拍子

M-I e moll 4分の4拍子**Andantino****M-II** B dur 4分の3拍子**Moderato****M-III** D dur 8分の6拍子 暗記 (4回通奏)**Allegretto**